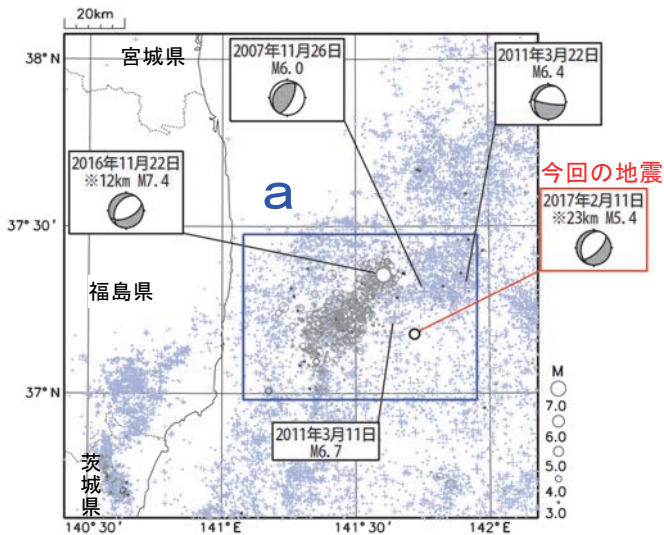


2 月 11 日 福島県沖の地震

震央分布図*

(1997 年 10 月 1 日～2017 年 2 月 28 日、
深さ 0～50km、 $M \geq 3.0$)

2016 年 11 月 21 日以前に発生した地震を+、
2016 年 11 月 22 日以降に発生した地震を薄い○、
2017 年 2 月に発生した地震を濃い○で表示
図中の発震機構は CMT 解



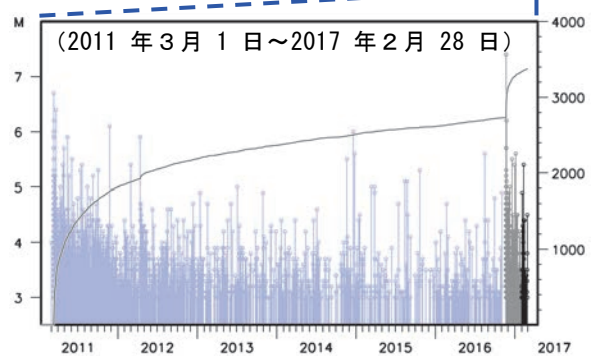
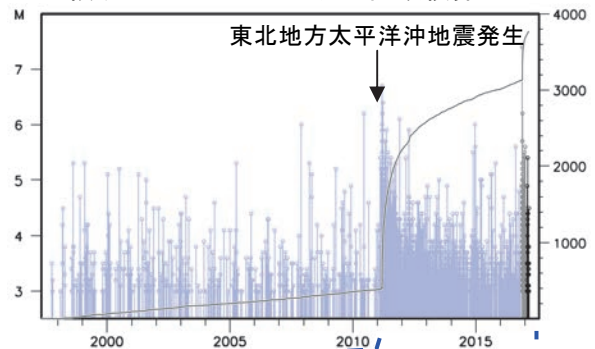
※ 2016 年 11 月 22 日の地震 (M7.4) と今回の地震の
深さは CMT 解による。

2017 年 2 月 11 日 06 時 05 分に福島県沖の深さ 23km (CMT 解による) で M5.4 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生し、発震機構 (CMT 解) は北西-南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。

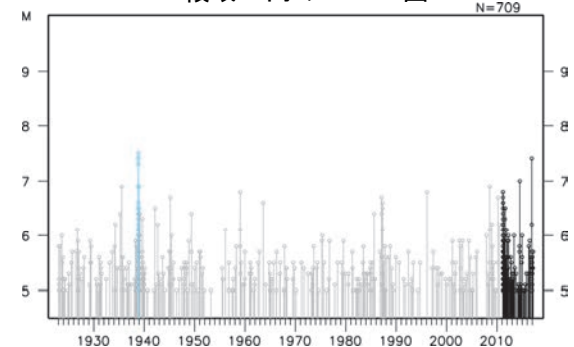
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 a) では、M5.0 を超える地震が時々発生しており、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、東北地方太平洋沖地震) の発生以降、地震活動が活発化した。今回の地震は、2016 年 11 月 22 日に M7.4 の地震が発生した後に地震活動が活発化している領域よりも沖合側で発生した。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) では、1938 年 11 月 5 日 17 時 43 分に M7.5 の地震が発生した。この地震により、宮城県花洲で 113cm (全振幅) の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年 11 月 30 日までに M6.0 以上の地震が 25 回発生していた。これらの地震により、死者 1 人、負傷者 9 人、住家全壊 4 棟、半壊 29 棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図*



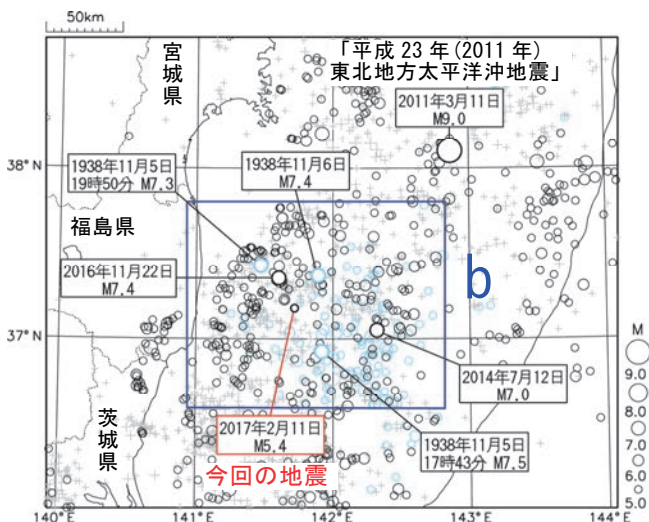
領域 b 内の M-T 図



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2017 年 2 月 28 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)

1938 年 11 月 1 日～12 月 31 日に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い○、
それ以外を薄い+で表示



* 2016 年 11 月 22 日の地震 (M7.4) の発生直後には、
未処理のデータがある。